

リレー連載 生ヒストリー温故知新
第7回 宮島光男さん（55期）その1

【関東同窓会とのかかわり】

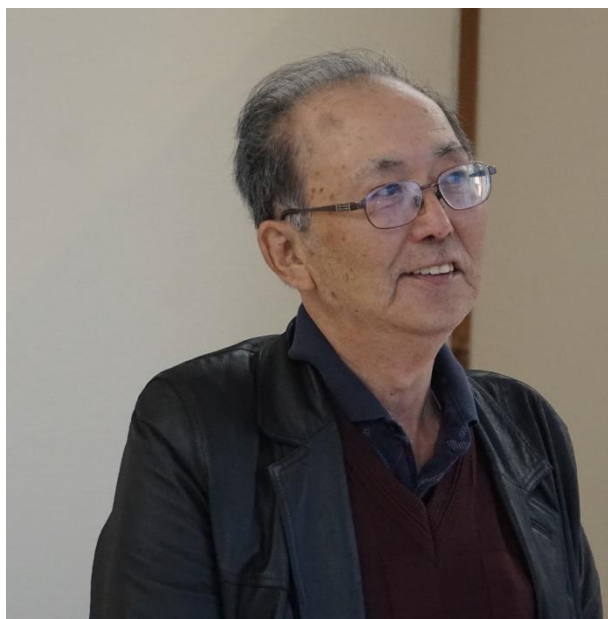
同窓会との最初の関係は1957年（昭和32年）夏、上田松尾が初めて甲子園に出場した時でした。卒業して1浪中でしたが、在京の同期の仲間が連絡し合っ
て新宿のライオンビヤホールに集合、2回戦の対平安との試合をテレビで
（当時まだテレビはあまり普及してなかった）観戦、まさかの勝利に大いに盛り
上がりました。その時に余裕がない中でカンパを集めて誰か代表に渡したの
を覚えています。ラーメンが30円、ウイスキーシングルが40円、国立の授業
料が月700円の時代だったので、最大でも一人300円ぐらいだったかもしれま
せん。

その後は大学入学から就職して50台半ばまで全く同窓会とは縁がありません
でした。初めて声がかかってきたのは1997年で、それまで関東同窓会総会
の運営を有志のボランティアでやってきた方式を、この年から5期ごとの実行
員会で当番制に切り替えたのです。当時の会長が50期の齋さん、幹事長が53
期の堀内忠久さんで、登板の実行委員を50期、55期、60期、65期に割り当
てられました。そこで長兄が関東同窓会で長年会計を担当していた関係で、同窓
会に顔を出し続けていた同級の友人から実行委員を頼まれ、初めて総会に参加
しました。これが縁になり、その年の秋には東京のホテルで卒業40周年同期
会総会を開催し、羽田 孜大臣？もゲストで参加してくれました。（同期生が
羽田さんの弟でした）。

その前後だったか、同窓会報の編集者が「会社訪問」の連載第1回として私
の勤務先「共同通信」を取り上げ、訪ねてきました。小林茂芳君（59期、主婦
の友？）でしたか、会社の先輩、赤池茂之さんと一緒に会って話したのを覚え
ています。翌年の98年の総会にも一応会員として出ましたが、平凡な1会員
のつもりでいました。

ところが、翌99年の春、突然同期の仲間から「銀座のクラブに顔を出して
くれ」と言われ、のこのこ顔を出したところ、同期の仲間3人のほかに51期
の怖い先輩が5人ほどいて、いきなり「同窓会の幹事長になってくれ」とほぼ
命令されたのです。人が良く気の弱い小生は怖くなってその場で引き受けさせ
られました。それから51期の村田 寛さん（故人）からえんえんと同窓会の故
事来歴について薫陶を受けました。99年6月から同窓会幹事長、2002年7月
から副会長、そして上原執行部の時代まで顧問として活動し、現在は一応55
期代表幹事をしています。

* 以下次回



第 36 回関東同窓会ゴルフコンペにて
(2021 年 11 月 5 日 (金) @千葉カントリークラブ川間コース)